令和4年度 戸部本町地域ケアプラザPDCAシート 公表用(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

·総括表-◆ 事業計画 □ 地域の現状と今後の方向性 ・地域住民が高齢となり認知症を発症するなどした際、介護保険のサービス利用には至らないものの生活に支障が出たり、地域の活動へ の参加が難しくなる場合が多く見受けられるようになりました、認知症への理解や高齢者の見守り・役割の持てる活動を住民・地域支援 者・専門職と地域課題として共有し支援に取り組みます。 ・地域との繋がりを望まない高齢者も多く、生活に支障が出た途端に孤立しやすい現状があります。出来るだけ自立した生活が出来るよ う、介護予防を含めた健康づくりを支援すると共に、感染症対策に留意しながら、地域活動参加へのきっかけとなる仲間づくりを支援しま す。 ・生活の利便性の高さや、集合住宅の増加に伴い、子育て世代や単身高齢者の転入が増えています。誰もが住みやすい地域づくりを目 標に、地域団体、関係機関、企業等と連携を図り、既存の地域活動の支援や新たな活動の創設を目指します。 □ 今年度の重点的な取組 新|継 -具体的な取組内容-規続 認知症サポーター養成講座の開催を通じて、認知症になっても住みやすい街作りに取り組む。地域の中での開催を 自治会や町内会に向けて発信していく。エリア内のキャラバンメイト連絡会も継続開催。講座企画時には多くのメイト に声をかけ参加機会を増やす。 今年度も引き続き、在宅医療相談室運営事務局会議や認知症医療連絡会、認知症初期集中支援推進事業などに 参加し、地域在宅医療の中での地域ケアプラザの役割を理解し協力していく。 П ケアマネジャー勉強会などで医療系のテーマを取り上げる。 介護保険事業所に高齢者虐待防止研修を4包括共催にて継続する。成年後見制度等の無料個別相談会を日時を 固定し定期的に開催。必要に応じてその後もフォローし、成年後見制度の活用に繋げていく。エンディングノート講座 では、前期高齢者等を対象としたオンライン講座を企画する。 引き続き地域活動の継続・活性化に向け、住民主体の地域づくりを目指す。各地区や町内会・自治会での取り組 み、シニアクラブ、ふれあい会等の連携に努めるとともに、地域ケア会議、協議体等で抽出した課題に対し、関係機関と 必要な社会資源の取り組みを行う。 ICTを活用し、様々な世代のニーズに応じた情報発信、講座の開催、つながり作りに取り組む。自主事業参加者が福 祉活動等、担い手と発展する機会を提供する。自主化した団体がケアプラザ及び福祉施設で活動し、福祉活動を積 極的にするよう情報提供し福祉・保健活動への発展を目指す。ボランティア講座を定期的に開催し、よこはまシニア ボランティアの普及に努め、新規ボランティアの獲得に努める。 ◆ 事業報告・事業実績評価 □ 振り返り コロナ禍が続く中、徐々に地域の取り組みや地域住民の工夫した活動が再開され、こうした住民主体の地域活動の円滑な 運営や活動の継続を後方支援しました。 また、日頃からの地域支援者との顔の見える関係づくりを推進するとともに、様々な世代に必要な情報が行き届くよう工夫し た情報発信に努めました。 今後も、第4期地域福祉保健計画、地区別計画の推進に向けて、地域の皆様、関係機関と連携し協働で取り組んで参りま □ 区からのコメント

コロナ禍で様々な制約がある中、地域ケアプラザ運営にご尽力いただき、ありがとうございます。

長期化するコロナ禍においても、活動者や団体が安心して活動できるよう、不安や悩みに丁寧に寄り添いながら助言や後方 支援いただいたことが、地域の取組や地域住民の工夫した活動の再開につながっていると考えます。

また、ICTを活用した情報発信や、オンライン形式を取り入れた講座等の開催など、様々な工夫をしながら関係づくりに尽力 いただきました。次年度以降も様々なニーズに合わせて情報発信等を工夫しながら事業展開されることを期待します。

「にこまちプラン地区別計画」については、複数地区を担当している中できめ細やかに地域支援を行うなど、中心的な役割を 果たしていますので、引き続き、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会、区役所等と連携を充実させながら、推進していくことを 期待します。